



**ツルミエンジンポンプ**

**取扱説明書**

**LA2-100R型**

株式会社 鶴見製作所

## ■ まえがき

この度はツルミエンジンポンプをお買上げ賜り厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ちまして本機を最良の状態でご使用していただくためポンプ運転前に本取扱説明書と、別紙エンジン関係取扱説明書をご精読の上十二分にご活用くださいますことをお願い致します。

## ■ ポンプ運転前に

1. ポンプには、銘板ステッカーが貼ってありますので、型式、口径、馬力等に間違いがないか確認して下さい。
2. 輸送中に破損箇所はないか確認して下さい。
3. エンジンの取扱説明書をご精読の上付属品などが揃っているか確認して下さい。

## ■ 設 置

1. ポンプの据付設置はできるだけ吸水源に近い場所を選び、吸水面からポンプ中心まで垂直高さは通常6 m以内として下さい。
2. 設置場所は、水平面の場所で凸凹のある場所は避けて下さい。勾配のある所で使用しますとエンジンオイルの片寄りのためエンジン焼付の原因となります。

## ■ 配 管

1. 吸水管（サクシヨンホース）はなるべく短くかつ曲りなどがないようにして下さい。
2. 吸水管（サクシヨンホース）はポンプの口径よりも細いものは使用しないようにして下さい。
3. 吸水管（サクシヨンホース）の継手（カップリング部）は入念に取付け絶対に空気漏れのないよう充分完全に締付けて下さい。もし空気が漏れ込むと吸水不能となることもありますから特に注意が必要です。
4. サクシヨンホースを使用の場合は必ず規定のホースバンドを2個以上使用して締めつけて下さい。
5. 吸水管（サクシヨンホース）の先端には必ず付属のストレーナーを取り付けて下さい。

6. 吸水管（サクシヨンホース）の先端は水面より充分深く沈ませて空気を吸込まないようにして下さい。あまり深く沈ますと泥の中に埋まったりすることがありますから注意して下さい。
7. 吐出管の出口が水中に入っていたり、吐出ホースがねじれていたりのような場合は、空気がポンプ内から抜けきることができない為、ポンプが揚水しない状態がありますからその場合は、注水口プラグを一時外して空気を抜いて下さい。
8. 配管（ホース等）の重量がポンプにかかる場合は、配管の支持装置を設けて下さい。

## ■ 運 転

1. 据付、配管が正常であるか 再確認して下さい。
2. ポンプの注水口プラグを開いて呼び水を充分入れて下さい。  
呼び水が終了したら注水口プラグを締めて下さい。
3. エンジンの始動順序を、エンジンの取扱説明書に基づいてエンジンオイルなどの点検を行って下さい。
4. 呼び水を入れずにエンジンを始動しますと、ポンプ内部にあるメカニカルシールが焼き付くおそれがありますから必ず呼び水を入れてから始動して下さい。
5. エンジンの始動後5分間程低速にて暖気運転を行い、その後規定回転数で運転して下さい。
6. 制水弁を使用している場合はエンジン始動後除々に弁を開いて下さい。（制水弁を締切った状態で5分以上運転しないで下さい。）
7. 常用運転後数分で揚水を開始しますが、10分以上経過しても揚水しないときは、異常があると思われるので配管やポンプをよく点検して下さい。

## ■ 取扱い上の注意

1. ポンプ内に呼び水を入れるのは、初回のみで、次の運転からは、水を補給することなく回転と同時に揚水を始めます。但しこの場合ポンプ内に水があることが必要です。
2. ポンプ内に水を入れずに空運転しますと、たとえわずかな時間でも内部のメカニカルシールを焼き付かせ故障を起すおそれがありますから絶対に空運転を行なわないで下さい。
3. メカニカルシールは寿命時間がすぎたり、カバーケース下部より水漏れが発生した時はすぐに交換して下さい。

## ■ ポンプの故障と原因の処理

(イ) 始動後数分しても揚水しない。

- ① ポンプ据付位置不良-----吸込揚程が高すぎるため、ポンプ据付位置を低くする。
- ② 空気の吸い込み-----吸水管（サクションホース）の接続部など吸水側を点検する。
- ③ 呼水の不足-----ポンプ内に充分水を入れる。
- ④ 空気の排出不能-----吐出ホースのねじれ、制水弁が閉じていないか確認する。
- ⑤ 回転不良-----ポンプ回転が規定回転数であるか
- ⑥ シール不良-----メカニカルシールが摩耗し空気を吸い込んでいるためシールを交換
- ⑦ 水路に異物の混入-----吸込管、吐出管あるいは、羽根車が異物により詰っているかストレーナーにゴミが付着しているので各部を点検掃除を行う。

(ロ) 揚水量が少ない。

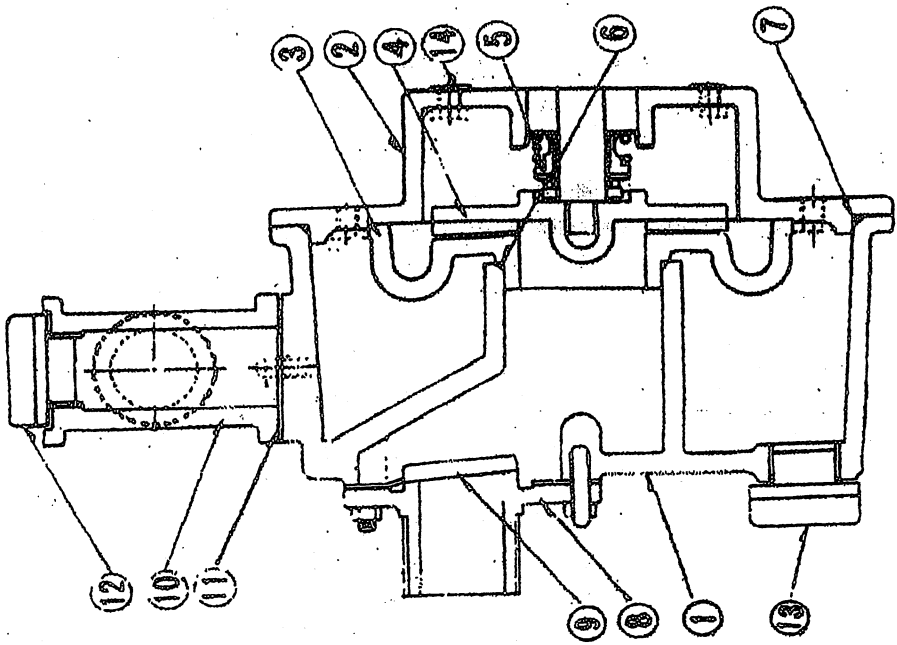
- ① 異物の混入-----ストレーナーあるいは管路が異物にふさがれていないか点検する。
- ② 回転数が低い-----エンジンの回転数が規定回転数になっているか確認する。
- ③ 羽根車の摩耗-----永年使用していると接液部の摩耗が進みますから点検取替えを行う。

# 仕 様 書

名称:エンジンポンプ

ポ ン プ 仕 様		備 考
ポ ン プ 型 式	LA2-100R	
用 途	汚水用	
口 径 ( 吸 ・ 吐 )	100mm	
最 大 全 揚 程	30m	
最 大 吐 出 し 量	1.4m <sup>3</sup> /min	
台 数	台	
エ ン ジ ン 仕 様		
型 式	EX27	
形 式	空冷4サイクルガソリンエンジン	
総 排 気 量	265cc	
連 続 定 格 出 力	5.1[7.0]/3600 KW[PS]/rpm	
最 大 出 力	6.6[9.0]/4000 KW[PS]/rpm	
回 転 方 向	左(出力軸側より見て反時計方向)	
使 用 燃 料	自動車用無鉛ガソリン	
タ ン ク 容 量	6.1ℓ	
燃 料 消 費 率	270g/PSh	連続運転時間:約2.3時間
使 用 潤 滑 油	エンジンオイル 10W-30	SE級以上
潤 滑 油 量	0.60ℓ	
気 化 器	フロート式	
点 火 方 式	マグネット	
点 火 プ ラ グ	NGK BR-6HS	
始 動 方 式	リコイルスターター式	
メ ー カ ー 名	富士重工業	ロビンエンジン
乾 燥 重 量	ポンプ本体 50Kg	
ケ ー ス 外 寸	695X518X685	
付 属 品	ストレーナ X1ヶ	
	ホースカップリングセットX2ヶ	
	分解工具(プラグ用ボックスレンチ)X1式	

■ 構造図 LA型



No.	品名
1	ケーシング
2	カバー
3	サクションケーシング
4	インペラー
5	メカニカルシール
6	オーリング (小)
7	オーリング (大)
8	吸水バンド
9	吸水バルブ
10	排水バンド
11	バルブシード
12	注水口アラゲ
13	ドレンアラゲ
14	カバーパッキン